

軍艦各地廻航命令並巡航日  
数件附航路豫定并發着報  
告等

至急

0733

軍令部

次長

第一局

副官

副官

齋藤

枋

參事官

一月十一

三十五年一月十一日起案

大臣

總務長官

軍務局長

第一課長

職員

人事局長

第一課長

第二課長

職員

經理局長

第二課長

職員

艦政本部長

坂馬

第二部長

職員

第一部長

第四部長

軍令部

軍令部事務、一月下旬作世保、回航、件認、

海總第五九號

三十五年一月廿日

洋 算

要

別紙之涌浪津艦長、電請對し詔許相成付案以与  
及通成事也

三十五年一月廿日

女乃

書付艦長ノ如及

軍務局

第一課

賀露 五月廿一日午後一時廿五分

下五

海軍艦長

海軍艦長 賀露 五月廿一日午後一時廿五分

五月廿一日 明

海軍

EMPERIAL GOVERNMENT TELEGRAPHS (Delivery form)

Station	<i>Kaigun 15</i>	Office No.		Address	<i>Hagoromo</i>
Received Time	<i>8 50 PM</i>	Date	<i>10.1.1902</i>		
By	<i>K</i>				<i>Pokio</i>
Class	<i>S</i>	Original Office	<i>Kefoo</i>	Remarks	
No.	<i>261</i>	Words	<i>15</i>		
Date	<i>10.1.1902</i>	Time	<i>6 PM</i>		
<p style="text-align: center;"> <i>の電報を 掲載</i>  <i>Fidelitas ballio</i>  <i>fanam prohibe</i>  <i>manuete amytanon</i>  <i>commissum aeragas</i>  <i>anteuenio</i>  <i>Nato</i> </p>					

0736

急

軍令部 次長

第一局 第三局

副官

参事官

發行 二冊

三十五年二月十五日起案

大臣

總務長官

第一課長

第一課長 課員

其艦當分仁河磯泊作美志也  
電報指示案

海軍

三十五年二月十五日

洋軍

第五六二

如式海軍部長官の書付有之義を以て  
洲海軍に心付付

三十五年二月十五日

丁 費

軍務局



電報文

有帝行孝

大五

近地

露古大平洋航線近々当地ニ来ル筈  
林公使、希証セリ出分、内當地  
ニ碇泊ス宜シキヤ御許可アリタシ



0740

電 報 送 達 紙

局	着	局	電	所 着 人
取 扱 番 号	カ シ ト	カ シ ト	ニ セ セ	カ シ ト
時 分	時 分	時 分	日 號	
キ ロ テ イ キ ユ ノ ト レ カ ハ	ニ ノ ト ク ス イ テ ヨ シ フ	ノ イ レ キ コ ワ モ イ ヤ ア	△ ハ ヤ シ ク コ ハ ヒ	キ ロ テ イ キ ユ ノ ト レ カ ハ
定 額	番 号	番 号	番 号	
	カ	カ	カ	
所 名 人 信 發	カ シ ト			
事 記				
印 報 日				

(行 印 出 圖)

0741

報

受領書

清水 大馬

外

注意

此書部... 清水大馬... 二月五日

Handwritten notes in vertical columns, including characters like 友, 川, 立, 七, 八, 相, 知, 為, 獨, 二, 三, 百, 等.

先の以来、事件ニ関シ  
シソウヲ知ル為獨ニ三百  
...

0742

213-7-24  
57.7  
608  
243

軍令部

供養

重

第一

友

廿七

カイン...

力	カ	カ	一
カ	カ	カ	二
カ	カ	カ	七
分	字	分	日

林韓馬公使便氣出...  
金山馬山浦...  
一月廿七...  
津速船...

ハヤシカニヨクコウ  
ニツキアスニツコウ  
フサニツキアスニツコウ  
ハツニツキアスニツコウ  
ケス

注意  
此電報を受取リタルトキハ...  
其山テ付箋...

(行印田岡)

海軍第六四六號

吳鎮第五四二號之軍艦八島巡航延期之件認許之

指令案

教育本部長

長

長

大臣  
總務長官



大臣

陸軍大臣



海軍大臣



陸軍省長



海軍省長



第一部長

第二部長

第三部長

第一課長

第二課長

第一課長

第二課長

主任課員

課員

副官



勅

小票

參事官

三十五年二月廿二日起案

發行  
二廿二日

濟

次長



第一官

副官

安

栗



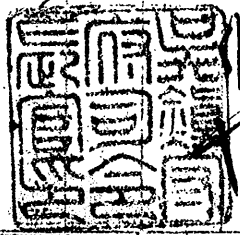
海軍省 第四三三二

軍艦島巡視延期儀ニ付上申

第一等海軍艦島巡視船本年十月五日  
迄、向に於て豫備航程起程才九条ニ依り巡視  
スル旨、度所工事、為り期日内ニ巡視  
ク難事教育訓練、為り次期巡視ト合併  
為り度候条、先許相成度、其如上申候  
明治三十五年二月十九日

吳鎮守府司令長官 柴山 矢八

海軍大臣 山本 権六郎 殿



明治三十五年二月十九日

海軍

三月

八五

副官

參事官

三

二十五年三月五日起案

大臣



總務長官



軍務局長



第一課長

第二課長



人事局長



第一課長

第二課長



主任課員



經理局長



第一課長

第二課長

第三課長

第一部長

第二部長

第三部長

第四部長

高松

佐藤鎮守府練習艦

第一部長

第二部長

第三部長

第四部長

海軍

海軍第八五號 三 傳達書

軍艦高千穂

右第一海軍區へ回航せしむ  
前書に通り 乞裁方請 取中相成度候及高千穂也

軍令部長

三十五年三月十日 發付濟

大元

佐世得鎮守府練習艦

軍艦高千穂

右第一海軍區へ回航せしむ

右傳達書

三十五年三月十五日

大元

佐鎮守府令

日下發布ノ時日ハ



軍艦高千穂

別紙也

式部中相或及高千穂也

發付濟

式部也

運使

佐世徳鎮守府練習艦

軍艦高千穂

航七〇〇〇

大

月十五

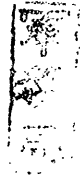
司令官

日本郵政省 陸軍省 陸軍省 陸軍省

軍務局

0748





明治三十五年三月

軍機發給之件

可

海軍省部長より海軍省に於て

右之通奉所 允裁候

先吉保鎮守府總務所


軍機高千穂

右第一海軍區西航セシメラル

至急

軍令部長 

第一局 

副官 

副官

 参事官

六九

三月五日六月十八日北案

大臣

總務長官 

軍務局長



第一課長



課員



本書原番号八千島真鶴  
巡航件ニシテ水雷艇各地巡航件  
中收ム

至急

本船ハ未ダ三月六日迄ハ  
於テ任務終了セハ

海軍機密第二〇六號ノ五

海軍

0751

文書号及付録号等ノ經手ノ簿指シテ  
二〇〇

三十五年五月十九日

三十二年

海軍機密 第三〇六號

第三〇六號ノ簿指シテ三十二年五月十九日

三十五年五月十九日

三十二年



軍艦三笠舞鶴回航奉看機定表

名到看日 奉艦日 記事

横須賀

六月  
二十五日午前二時半

神

六月二十五日午前

二十七日午前三時

呉

二十九日午前

七月七日午前七時

伏世保

九日午前

十一日午前九時

舞鶴

十三日午前

舞後水道通過  
舞後水道通過

海軍



軍務局

本館、神戶、横濱、東京、大阪、京都、神戸、名古屋、福岡、仙台、札幌、旭川、釧路、帯広、青森、岩手、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、徳島、香川、愛媛、高松、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高松、岡山、広島、山口、

明治二十七年六月廿七日

軍務局長 斎藤 実

海軍省 海軍局長 斎藤 実



海總  
第三三三號

伊鎮第二二七號八第一豫備艦五隻出航日數增加

指令案

第一部長官 第四部長官

海軍大臣

第二部長官

第一課長 長福

第二課長 長福

第三課長 長福

主任

總務長官

軍務局長

第一課長

第二課長

課員

大臣

三十五年六月九日起案

副官

參事官

六廿七

軍令部長

局長

濟

第一局

第二局

第三局

副官

栗並



海軍 第三三三三號

第一編 第二集

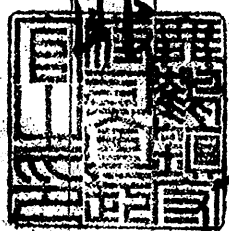


軍需品輸送ノ義并上申

本府、輸送ノ要スル軍需品ノ義、尚ホ多額ニ  
シテ軍艦豐橋ノ便ノミニテハ、枹取系ノ間、毫  
下軍艦吾妻ヲシテ吳及佐世保ヲ軍需品輸  
送、夕々當軍港、回航為致度矣、付テハ  
豫備艦艇規則第九條ニ航日數ノ外尚四日  
間增加ノ義却認許目成度此段上申矣也

明治三十五年五月十七日

舞鶴鎮守府司令長官東郷平八郎



海軍大臣男爵山本權兵衛殿

海軍

明治三十五年五月十九日

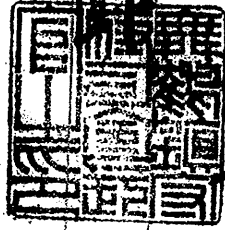
海軍大臣

本件  
在  
モ  
之  
ハ

舟上申

而品ノ義ハ尚ホ多額ニ  
テ、持取策矣、聞毫  
伍世保ヲ、軍需品輸  
為致度矣、付テハ  
一航日數ノ外尚四日  
成度此段上申矣也

官東郷平八郎



衛殿

海軍



海軍若知方

先務諸君知方

本件ハ後手接シテ多額ナ  
ク、強ク一ノ路方ニテ思存  
モ、且シ此後、各州ニ在リ  
テ、故、古及、台、依、取、中  
六ノナリ

0259

海軍第二四九號

舞鎮第三八七号二庫艦摩耶豫備艦艇規

指令案

大臣

總務長官

副官

軍令部長 次長

濟

三十五年六月十八日 起案

參事官

第一局 第二局

副官

第一課長 第二課長

軍務局長

人事局長

經理局長

艦隊部長

第一課長

第二課長

第三課長

第四課長

課員

主任課員

第五課長

副官

加印

栗並

保

清水



0762

軍務局

電報送達紙

一九二

受信人姓名所  
 受取者  
 着信者  
 第 五 十 七 号  
 日 分 字  
 時 分 字  
 電 報 局 印

摩耶豫算配賦内ニテ  
 善支ナキ見込  
 去月廿七日  
 舞鏡彦謀長

着信番指  
 第 九 五 号  
 號

注  
 他ノ電報ノ記述ヲ  
 此ノ電報ニ付テ  
 其ノ取本人ニ  
 送付スル事  
 印 附 日

記事發信人姓名所

又

一九二八年八月

軍第一九二號

陸務局第一課

電報

廣耶迎航日數增加ハ石炭消耗品等配布豫算  
額内支弁せらん見込ナルヤ

三十五年六月十七

舞鶴鎮守府参謀長

軍務局第一課長

課員

三月廿九日發付

前二五



軍務局

第一課

一三八七

豫備艦巡航日數增加、義、付上申

吳軍港、於製造濟、雜役船隻、船為

ノ麾下軍艦摩耶ヲシテ今軍港、由航セシメ度

候、付テ豫備艦艇規則第九條巡航日數、

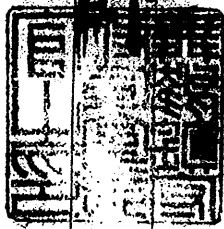
外尚三十日間増加ノ義、即認許相成度此

段上申奏也

明治三十五年六月十四日

舞鶴鎮守府司令長官東郷平八郎

海軍大臣男爵山本權兵衛殿



軍一六四七

海軍

供覽

軍務局

宣令部

0765

第一編

摩普第三〇三號

本艦令及報  
 紙航路後身由鎮首壹卷七期  
 行可致後身以表及法報告假也  
 明治三十五年六月十四日  
 麻子野艦長池中小次郎

海軍大臣山本權兵衛殿



接軍一  
 廿七日



日	月	日	月	日	月	日	月
二十	二十	二十	二十	十九	十八	十六	六月
四	二	一	日	日	日	日	日

航路  
指定表

宮	德	門	浦	西	舞	貴	路
嶋	山	司	郷	郷	鶴	港	定
島	喜	德	門	浦	隱	岐	表
山	司	郷	郷	西	港		

記  
事  
施  
期  
行

全  
三  
月  
甲  
午  
年  
三  
月  
廿  
四  
日  
船  
砲  
射  
擊  
上  
嶋  
泊

海  
軍

2920

大臣

總務長官

副官

軍令部

次長

第一局

副官

三十五年八月廿五日起案

參事官

發付

月若

軍務局長

第一課長

第二課長

課員

監政部長

第三部長

第四部長

指令案(電報)

第三十七號

軍令部次長に於ては、軍令部直接に送付すべし。

海軍

達セリ 三十五年八月廿六日

注 大五 算

馬場

電案

貴艦修理ノ為ニ其ノ回航件馬場公署漢部司合取上  
申ニ對シテ詔解セヨリ便宜廻航差支ナシ  
三十五年八月廿六日  
馬場

要旨

軍務局

大臣

八月廿四日

馬公要港部司令官

筑波ハ佐世修造船廠工事多ク  
 多ク修繕養育年ノ先込  
 再々修繕ノ為メ是ニ回航  
 大ニナリ

八月廿五日  
 馬公要港部司令官



至急

1420

副官



參事官

發付  
九月九日

三十五年九月十六日起案

大臣

總務長官



軍務局長



第一課長  
第二課長



課員



人事局長



第一課長  
第二課長

主任課員



經理局長



第一課長  
第二課長



艦政本部長有馬

第二部長



高議中

佐世保鎮守府豫備艦

海軍機密第二八九號

海軍

栗遊





右第一海軍區 回航也	傳達中(電報)	佐世領守府 豫滿艦	軍艦敷島	軍艦若手	軍艦敷島	軍艦若手	前書之通仰 乞裁奪 海軍中 相及度 及及商議也	三十五年九月 是日發付濟 大臣	軍令部長	右第一海軍區 回航也	右傳達
---------------	---------	--------------	------	------	------	------	-------------------------------------	-----------------------	------	---------------	-----

0772-2



已下發布ノ時日ハ當

海軍

軍艦敷島  
軍艦磐若手

心也

海軍中相松岡洋右及高橋也  
又此の發付濟大臣  
部長

案(電報)は

作世保鎮守府豫滿艦

軍艦敷島  
軍艦磐若手

心也

0772-2

已下發布ノ時日ハ當局ヨリ通報スヘシ

軍務局

三十五年九月十九日  
佐藤 貞吉

大五

梅谷 第二八九号

海軍省 参事 佐藤 貞吉

報告書

三十五年九月十九日

大五

箱 五

海軍

軍務局



市各及吳省区内各処ニ虎列刺病流行シ  
 大船ニ對スル糧食水等ノ供給地乏シ依  
 于同下吳地方ニ辟病シニ敷島磐手ノ二  
 艘ハ辟病ノ信ヲ得演習速力試験ノ方清水  
 橋リ等々ニ廻航セシメ先許リ仰グ  
 石炭ハ上小期豫定額内ニシテ足差支  
 ナシ

三十一日付

佐藤 日と七

大臣

九月廿一日



9440

局 着		司		第		受 信 名 所
取 受 信 者	信 受 午	付 受 午	月	日	報 局	
	時	時		號		記 事 發 信 人 名 所
	分	分				
<p>カヨヤタソア4        セイソウウルホ        シンカラハンウ        トタヘヒシコ        タウシナヒソヒ        ウニワシヨイヒ        ゴクシヤウマヨ        イフエノニウ        シコハス十二</p>						
定 指			番 着		信 第	
意			注		號	
<p>他人一宛タル信報ノ配達ヲ        受テタルモノハ此由ニ符達        直ニ此レニ宛達スル        信局所ニ返戻スルハ決シ        其受取未入ノ直送ノ又ハ        誤ラセハカラス</p>			<p>日 附 印</p>			

4440

取扱者

受信

付受

第

午

午

月

時

時

局報

分

字

分

日

號

定指番着  
號信  
第

Handwritten Japanese characters, likely a list of names or addresses, written vertically in a cursive style. The characters are arranged in several columns, with some characters appearing to be repeated or variations of a few main characters.

所名人信發事記

號

注意

Small printed text block, likely containing instructions or a notice related to the document's use or recording.

印附

海總

馬鎮第三七〇三平三軍艦八島兩期合併航

指令案

副官

長

第一局  
第二局

副官

副官

副官

副官

副官

副官

副官

三五年十一月十七日起案

參事官

參事官

發付

大臣

總務長官

總務長官

軍務局長

人

第一課長

主任課長

第二課長

第一課長

第二部長

第一部長

第二部長

海軍大臣

海軍大臣

海軍大臣

海軍大臣

海軍大臣

海軍大臣





海軍 四三〇二 號

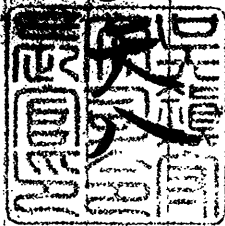
大正三年三月二日

軍艦八嶋兩期合洋巡航案に付上申

軍艦八嶋、本年四月豫備艦に編入後機關總検査等、先づ前期三月月向、余日無之為、巡航不致以而、修理工事も漸次進行既、不日竣成、軍艦に相成候、就、該工後、教育訓練等、先づ豫備艦に規則第九條に依り、本期間巡航日數、前期日數に併せ、巡航セ、度候、余先許相成、度此段上申候也

明治三十五年十一月十二日

海軍大臣 野山本 兼 大藏大臣



追、右、左、各、部、等、に、係、る、其、内、に、テ、支、出、上、差、支、出、之、候、余、副、申、候、也

海軍

大正三年三月二日